

(様式1・小学校用①)

令和3年度 学校評価報告

草加市立花栗南小学校
(令和4年2月1日作成)

1 学校教育目標 ○考える子 ・夢や志が持てる子 ・自ら学び、自ら考える子 ・最後まで粘り強くやり抜く子 ○思いやりのある子 ・自分と仲間を大切にすること ・正しく行動のできる子 ・お互いの良さを認め合える子 ○体をきたえる子 ・健康や安全に関心をもてる子 ・自ら進んで体をきたえる子 ・楽しく運動に取り組む子	
2 重点目標・努力目標 1 一人ひとりの個に応じた教育を推進と確かな学力と生きる力の育成 2 心潤う生徒指導による豊かな心の育成 3 人権を大切にする教育の推進 4 体育的活動の充実と体力の向上の推進 5 安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備 6 地域との連携の強い本校の特色を継承した、地域から愛され信頼を深める特色ある学校づくりの推進	3 前年度の成果と課題 成果 ○地域の方々の協力やPTA及び関係機関との連携によって安心で安全な学校づくりを推進することができた。 課題 ●児童1人1台のタブレット活用した指導について研究を深める。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○学校教育目標達成に向け、全教職員が組織的に教育活動を推進することができた。 ●教職員の特性を生かした適材適所の校務分掌と、組織の改善をさらに進める。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○算数科におけるICT活用の研究を通して技術向上と授業改善が進んだ。 ●算数花南スタイルを軸としたICTの効果的活用方法について研究をさらに深めていく。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○校内の事故防止に向け、修繕が必要な箇所は速やかに修繕し、瑕疵による事故0を継続することができた。 ○保護者の協力のもと、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底できた。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○倫理確立委員会等を通して、情報漏洩や個人情報の管理について職員の意識向上を図り、事故0を継続できた。 ●個人情報に関する安全管理の徹底を図る。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○感染対策を講じた上で、50周年を祝う会や授業参観等を実施することができた。 ○学校運営協議会が定期的に行われ、学校の様子を伝えることができた。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○花栗中学校の教員による算数と外国語や家庭科の乗り入れ授業を行い、児童理解を図った。 ○中学校区で一貫教育の研究主題等について協議することができた。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○各学級で週間の学習予定表を作成・配布することにより計画的に授業を進めることができた。 ●子どもたちが余裕をもって活動できるよう日課表を工夫する。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年、各教科の進捗状況を学期毎に学校全体で確認し、計画的に指導することができた。 ○ICTの活用で授業の充実を図った。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○外部指導者を招聘し、指導方法の改善、生活に生きる道徳について研修し、実践力を高めることができた。 ●評価方法について充実を図る。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校教員の乗り入れ授業や給食時放送で行っているALTの英語での読み聞かせにより児童の外国語への意欲向上を図ることができた。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○50周年記念授業において、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、家庭地域の協力を得ながら児童主体の行事を実施することができた。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方をゲストティーチャーに迎え、米作りなど充実した活動を行うことができた。 ●児童の実態に応じた指導計画の改善を図る。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導上の問題が生じた際には、迅速に報告・連絡・相談を行い、組織で即日対応にあたることができた。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○開校50周年記念事業として、将来の夢について家族で語る機会を設定した。キャリアパスポートの活用により、自身の変容や成長を自己評価することができた。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修、巡回相談等の外部機関との連携等を効果的に実施し、効果的な指導に向けた共通理解が図れた。 ●児童の実態に応じた効果的な支援の充実・改善
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○校内でビブリオバトルの実施、学校応援団による読み聞かせ等、読書活動を充実させることができた。

⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットパソコンや電子黒板の活用が常態化してきている。 ●携帯電話の使い方を含め、児童の情報モラルの意識を向上させる。
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○人権作文、標語など学校全体で取り組むことができた。 ●各教科との関連をより意識した人権教育を推進する。

(様式1・小学校用③)

草加市立花栗南小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	知育 (考える子)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導法の工夫改善 ・家庭との連携 ・朝の学習タイム 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○花南スタイルの継承やICTを活用した指導法について研修を行い、共通理解を図った。 ○業前活動の国語・算数タイムを活用し、思考力・判断力・表現力の向上に取り組んだ。
	徳育 (思いやりのある子)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・読書 ・掃除 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○3大じまん(あいさつ・読書・そうじ)の日を設定し、主体的な活動を充実させることができた。 ●校外においてもあいさつができる児童を育成する。
	体育 (体を鍛える子)	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症対策を講じた上で、朝体育、運動会、校内持久走記録会、校内陸上記録会を実施することができた。 ○なわとびチャレンジにおいて、児童は自らの記録更新に向け、一生懸命練習に励んだ。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- ・保護者による「学校教育アンケート」において、調査した18項目中17項目で肯定的な評価をいただいた。特に、教職員の授業に取り組む積極性については、99.6%が肯定的な評価であった。
- ・昨年度やむを得ず中止した学校行事なども、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら実施することができた。
- ・新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、開校50周年を祝う会やバルーンリリースなど、児童が主体となる多くの記念事業を行うことができた。また、開校50周年記念事業実行委員会(保護者)が主体となり、「花栗南小学校50年のあゆみ～映像・パネル展～」を行い、地域の方に本校の歴史を綴った映像やパネルを披露した。
- ・タブレットパソコンや電子黒板の活用した授業が積極的に行われ、教員の技術向上が見られた。
- ・昨年度に続き、ビブリオバトルが行われ、開校50周年を祝う会でチャンプ本の紹介を行った。ビブリオバトルは、「本校の特色ある教育活動」として継続していく。

6 次年度の改善策

- ・情報教育において、タブレットパソコンの活用など、さらに効果的な指導法を研究する。
- ・児童の「3大じまん」のさらなる向上を目指して、さらに学校全体で推進していく。
- ・特別な配慮・支援が必要な児童への対応について、これまで通り家庭や関係諸機関と連携を図り、さらに支援体制を充実させていく。